

令和3年度 経営発達支援事業実施評価表

区分	項目	事業の目標	評価
I. 経営発達支援事業の内容	1. 地域の経済動向調査に関すること	四半期ごとに、会員事業所80事業所を対象として企業業況調査を実施し、商工会だよりへの掲載、会員事業所へのDM及びホームページでの公開を通して、広く広報を行います。次年度以降も実施し、個社の活性化に活かせるよう有効に活用していきます。	B
	2. 経営状況の分析に関すること	事業計画策定時において、数値(定量)及び数値以外(定性)による分析を行ないます。また、確定申告等税務相談時には、決算状況に基づいた数値分析と次年度の事業所の取組みについてヒアリングを行い、個社の活性化に向けた伴走支援を実施します。	A
	3. 事業計画策定支援に関すること	商談会に出展する7事業所に対し事業計画策定セミナーを開催し、事後フォローを行います。事業継続力強化計画策定セミナーでは自然災害が発生した際の事業の継続のための計画の策定支援を、また小規模事業持続化補助金活用による経営力向上を支援します。	A
	4. 事業計画策定後の実施支援に関すること	策定した事業計画の実行、検証、改善を図るため、専門家との個別相談をとおして、フォローアップに努め、巡回及び窓口相談において伴走支援を実施します。今後も、策定した事業計画を意識した経営力向上への取組みの一層の支援を実施します。	C
	5. 需要動向調査に関すること	東京での物産展・商談会で5社の個社商品の需要動向調査を実施します。消費者やバイヤーの需要を確認し販路開拓に繋げていくところです。	B
	6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること	新たな販路開拓のための商談会及び物産展出展に向けた商品開発及び既存商品のブラッシュアップに取り組み、東京の商談会等に出展します。またSDGs実践塾を開催し、新しい販路開拓手法に取り組みます。そしてIT活用による販路開拓にも取り組むなど、消費者の需要を喚起する事業をとおして、個社の需要開拓に取り組みます。	B
II. 地域経済の活性化に資する取組	1. 地域経済活性化事業	本会における地域経済活性化の重要施策の一つである農商工連携及び6次産業化、観光に関する事業推進のため、農商工連携観光推進会議を関係機関及び事業所の協力を得て開催します。5カ年計画の4年目として、販路の全国展開と体験型販路開拓の取り組みを検討します。	C
III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組	1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること	京都府、福知山市、地元金融機関、福知山商工会議所等との連携を図り、小規模事業者と地域経済の活性化に一体となって取組みました。次年度以降も情報共有の強化など連携を密にして地域経済の活性化を推進します。	B
	2. 経営支援員等の資質向上等に関すること	経営支援員の資質と支援能力向上のため、京都府及び中小企業大学校等への研修に積極的に参加しました。また、2人1組でのOJTによる巡回強化月間を設けるなど個社の伴走支援に取り組んできました。今後も、成果の出る伴走支援に取り組んでいきます。	A
	3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること	「評価・検証員会」を開催し、経営発達支援事業に対しての事業評価を受け、次年度に繋がるご意見及びご提案をいただきました。本年度の事業を検証改善し、個社及び地域経済により効果の高い事業への取組みに邁進します。	B

評価基準

- A: 目標を達成することができた(100%以上)
- B: 目標を概ね達成することができた(80~90%)
- C: 目標を半分程度しか達成することができなかった(30~79%)
- D: 目標をほとんど達成することができなかった(30%未満)